

「同窓会連携 活性化検討会」開催報告

2025年3月28日

同窓会活性化プロジェクト委員会 永易 雅文

3/1(土)に第4回同窓会会長会議として「同窓会連携 活性化検討会」を開催しました。今回は同窓会の運営に関わっている「若手」の方々を含めたディスカッションを中心とし、会長に限らず同窓会活性化に日々携わっている皆さんに広くご参加いただくため、名称を工夫しました。

なお、若手とは

- ▶ 各同窓会にて役員および中心となって活動されている方『より若い年代の方』
- ▶ 設立10年未満の学部学科同窓会で活動されている方
- ▶ 同窓会活動に協力されている学生

としました。

[開催要項]

- テーマ： 若手に同窓会の担い手として協力いただくには
※ 昨年度からの継続テーマとなります。
- 開催日時： 2025年3月1日(土) 13:00 - 15:00
- 開催場所： 旧短大校舎 N101 教室
- 内容：
・ 若手へのインタビュー
・ グループディスカッション
・ ディスカッション結果発表会
- 参加者： 29名 うち若手に該当する方が 1/3 程度いらっしゃいました。
- 参照資料： 同窓会連携_活性化検討会.pdf

・ 若手へのインタビュー

事前に各学部学科同窓会の皆さんより、多岐にわたる多くの質問をいただきました。(参照資料 若手へのインタビュー に質問事項を列挙してあります。)



若手の皆さんが質問事項に回答する形式で自己紹介後、各質問に対して意見を述べ、参加者全員での活発な意見交換の場となりました。

・ グループディスカッション&ディスカッション結果発表会

受付時にくじ引きにより 4 グループに分かれていただき、各グループでディスカッションいただきました。初見の方も多量の中、テーマから決め、模造紙にまとめるという、収集がつかなくなるリスク満載の設定でしたが、見事にまとめ上げ、活き活きと発表いただけました。



テーマ決めからお任せにしたことで、各グループが異なった切り口で、活動内容の苦労話から将来像まで広くディスカッションいただけ、新たな発見もあったとのご感想もいただきました。

若手が面白い活動だけでなく、日々忙しい仕事を終え定年を迎えた方が戻ってこられる活動も必要で、多岐に渡る活動を継続することの大切さも確認できたかと思います。

[懇親会]

15:30 ~ 16:30 過ぎまで、学食 (17 号館 1 階) にて開催しました。同窓会活動に限らずフランクでほのぼのとしたコミュニケーションの場となりました。軽食ということでしたが、IVYCS さんには大満足なお料理を準備いただきました。



年度末ということもあり、校友会グリーンエリアが確保できず、旧短大校舎での開催となりました。ネットワーク状況がよくないということもあり、あえてアナログなやり方にこだわりました。明るい教室内で活発に議論いただき、ご参加いただいた皆さんには改めて感謝いたします。また、当日ご参加いただけなかった方も、事前に若手の方への質問をいただきました。この成果は日々同窓会を運営いただいている皆様の総力が結集したものです。どれだけデジタル化が進んでいこうとも、中身のある活動の継続なくしては若手の心には響かないことでしょう。最後になりますが、私は今回で 3 度目の企画を担当させていただきましたが、コロナ禍明けの一昨年は各学部学科同窓会が特徴ある活動をしていること、昨年は少ない若手との交流の機会を活かし、さらなる活性化に取り組んでいらっしゃることに、そして、今回は若手の皆さんと共に同窓会の課題に取り組んでいけるということを知るに至りました。毎回、強引で無茶ブリとしか思えない内容にも関わらず、ご参加いただいた皆様には想像を超える結果をいただけております。本番に 100%の力が発揮できるかという心配や不安ではなく、本番だからこそ 100%以上の成果が出せるだろうという期待、まだ見たことのない世界を見ようと取り組む姿勢が青学らしさなのだろうと実感しております。来年以降も新たな同窓会の姿に出会えることを期待して継続していきたいものです。